

子どもを見守るボランティアにご協力ください



村田小学校の登下校時に、PTAや地域のボランティアのみなさん（子供を守る自警団）が、通学班の付添いや交差点での安全確保などの活動をしています。

地域の子どもは 地域で守る

子どもたちの安心安全を脅かす犯罪目的の「声かけ」や「つきまとい」が後を絶ちません。筑西市内でも、令和2年4月からこれまで、約40件もの不審者情報が届いています。教育委員会では、直ちにこれらの情報を学校や保護者、警察、自治会などと共有し、注意を促すことで、被害拡大の防止や未然防止に努めています。が、いところで発生するか予測不可能な脅威に対応するには限界があります。

そこで活躍しているのが「地域子ども安全ボランティア」のみなさんです。「地域の子どもは地域で守る」を合言葉に、登下校の見守り、学校や公園周辺の巡回、不審者発見時の通報などの活動をしています。現在約4000人が登録していますが、まだまだ担い手が足りません。

「ながら見守り」 地元の人の姿が抑止力に

不審者に対して、大きな抑止力となるのは「人の目がある」ことです。「地域子ども安全ボランティア」のように決まった時間やグループでの活動には都合がつかなくても、例えば、買い物やペットの散歩、庭木の水やりなどを、登下校の時間に合わせて「できる人ができる時に」行う「ながら見守り」をしてくださることで、地域の防犯力が上がります。

子どもたちのために、「地域子ども安全ボランティア」、「ながら見守り」にぜひご協力ください。



「こどもを守る110番の家」は、子どもたちが声かけやつきまといなどの被害を受けた時に、逃げ込める場所として、地域のみなさんにご協力をいただいている避難所です。登録にもご協力ください。

ボランティアの登録、問い合わせは、地元の小学校又は生涯学習課（本庁3階）へ。

問 生涯学習課 ☎ 22-0182

